平高新聞



第5号

発行:長崎県立平戸高等学校学務部

令和4年8月31日

薫

校長室から

ものは考えよう! 捲土重来で十分! 校長 峰

ものは考えよう:物事はなんでも考え方しだいで、よくも悪くも解釈できるということ

捲土重来:一度失敗れたものが、勢いを盛り返して挑戦すること

私が困難に直面したときや辛いときに、必ず思い出す言葉です。

小学校低学年の頃、友達から吃音をからかわれたことがあります。同じ音を繰り返してしまったり、言い間違えてしまったり、滑らかにしゃべることができないという自覚はあったのですが、バカにされることではないと思っていました。私はとにかくショックでした。その時、担任の先生が「頭の回転が速すぎて、話すのが追い付いていないだけ。頭がいいということよ。」とおっしゃってくださったお陰で、私は自分の吃音を気にせずに生きてきました。『ものは考えよう』だと、初めて実感した出来事です。後に、放送部の顧問になり、吃音を治していなかったせいで、少々苦労することにはなるのですが。

大学入試の1次試験(当時は共通テスト)で大失敗をしました。原因は、国語の現代文をことごとくハズしたことでした。志望していた学部の2次試験を受けることは厳しいと、教育学部を受験することをすすめられました。1週間嫌だと言い続けたものの、担任の先生に根負けする形で教育学部の国語科を受験しました。国語科にしたのは1次試験で失敗したからです。教員志望でもない私が教育学部に進学する理由は、"国語へのリベンジ"でしかありませんでした。私の将来設計を完全に変えてしまった"国語に勝とう"と考えたのかもしれません。大学では、小説や古典文学が好きな同級生に囲まれて肩身が狭かったのは確かですが、それなりに国語の面白さを知ることもできました。なにより、大学生・教員を通じて大量の現代文の問題を解きました。高校時代と違って、国語の問題だけ解いていればいいのですから、解けるようになって当然です。自分に甘い私のことですから、リベンジだと決意して国語科に進まなければ頑張らなかったかもしれません。『ものは考えよう』です。

高校の担任の先生が、卒業アルバムに大きく『捲土重来』と朱筆で書いてくださいました。私はよく失敗します。怠けます。自己の弱さから目を背けます。しかし、一度負けてもリベンジすればいいのです。一度しか挑戦できないとか、自分に厳しい人しか幸せになれないとか、世の中はそれほど了見が狭くないと私は考えます。Return to the attack! で十分です。

歯科講話・ブラッシング指導

8月3日(水)、九州文化学園歯科衛生士学院の学生に歯科講話・ブラッシング指導をしていただきました。様々な事例から日頃の歯磨きの徹底の大切さを学ぶとともに、染色液を使って磨き残しの多さを実感し、生活習慣を見直すよいきっかけとなりました。







平和学習

8月9日(火)、長崎原爆投下から77年、恒久的な『平和世界』の実現をテーマに平和学習を行いました。今年度は、映画『太陽の子』を鑑賞し、その後、ロシア・ウクライナ問題についての資料から考えたことをまとめる活動に取り組みました。生徒たちは、活動を通じて、戦争や原爆の悲惨な体験を理解し、二度と戦争を起こしてはならないと改めて実感していました。11時2分の原爆投下時刻には、黙とうを捧げました。





オープンスクール

8月4日(木)にオープンスクールを実施し、多くの中学生、保護者の方に参加していただきました。高校生による系列説明・部活動紹介や授業体験という内容でした。平高生はこの日のために全員で準備をし、当日も中学生と一緒に活動したり、道案内をしたりと学校の良さを伝えようと熱心に取り組みました。中学生が帰る際にも全員で見送り、ファミリー平高で中学生に平戸高校の魅力を伝えました。









9月の主な行事予定

9月

1日(木) 2学期始業式 基礎力診断テスト (1·2年生)

16日(金)後期専門委員会、就職試験開始日

22日(木) 考査時間割発表

29日(木)~10月3日(月) 2学期中間考査

各部の大会

〈ソフトテニス部〉

地区新人大会(9/17, 18)

〈野球部〉

九州高校野球長崎県大会(9/17, 18)

県高校ソフトテニス選手権島原大会

上記大会の結果は以下のとおりです。

井手口・堤ペア 4回戦敗退 (ベスト32)

浦田・崎村ペア 2回戦敗退 栗山・山口ペア 1回戦敗退

井上・小楠ペア 1回戦敗退

全国高校サッカー選手権 県北地区予選

上記大会の結果は以下のとおりです。

8月 8日 対 佐世保南 0-10(負)

8月16日 対 佐世保高専 0- 3(負)

8月20日 対 佐世保商業 1- 1(分)